

平成24年度

加須市一般会計・特別会計及び  
加須鴻巣学校給食センター組合  
決算審査意見書

加須市監査委員



加 監 発 第 3 1 号

平成 2 5 年 8 月 2 2 日

加須市長 大橋 良一 様

加須市監査委員 磯 勝 次

加須市監査委員 吉 田 健 一

平成 2 4 年度加須市一般会計・特別会計及び加須鴻巣学校  
給食センター組合歳入歳出決算審査の結果について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項及び同法第 2 4 1 条第 5 項並びに地方自治法施行令第 5 条第 3 項の規定により、審査に付された平成 2 4 年度加須市一般会計・特別会計及び加須鴻巣学校給食センター組合歳入歳出決算を審査したので、別紙のとおり意見書を提出します。

## 目 次

### 平成24年度加須市一般会計及び特別会計等歳入歳出決算審査意見書

1	審査の対象	1
2	審査の期日	1
3	審査の方法	1
4	審査の意見	2
5	主要な財政指標の分析	4
6	決算の状況	5
	(1) 各会計の総括	5
	(2) 加須市一般会計	8
	(3) 加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計	24
	(4) 加須市国民健康保険事業特別会計	26
	(5) 加須市国民健康保険直営診療所特別会計	30
	(6) 加須市後期高齢者医療特別会計	32
	(7) 加須市介護保険事業特別会計	34
	(8) 加須市農業集落排水事業特別会計	36
	(9) 加須都市計画事業不動岡土地区画整理事業特別会計	38
	(10) 加須都市計画事業三俣第二土地区画整理事業特別会計	40
	(11) 幸手都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計	42
	(12) 幸手都市計画事業栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業特別会計	44
	(13) 河野博士育英事業特別会計	46
	(14) 実質収支に関する調書	48
	(15) 財産に関する調書	48

## 平成24年度加須鴻巣学校給食センター組合歳入歳出決算審査意見書

1	審査の対象	49
2	審査の期日	49
3	審査の方法	49
4	審査の意見	50
5	決算の状況	51
	(1) 決算	51
	(2) 実質収支に関する調書	52
	(3) 財産に関する調書	52

## 平成24年度加須市一般会計及び特別会計等歳入歳出決算審査意見書

### 1 審査の対象

- 平成24年度加須市一般会計歳入歳出決算
- 平成24年度加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度加須市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度加須市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度加須市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度加須都市計画事業不動岡土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度加須都市計画事業三俣第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度幸手都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度幸手都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算
- 平成24年度河野博士育英事業特別会計歳入歳出決算
- 実質収支・財産に関する調書

### 2 審査の期日

平成25年6月20日から平成25年8月19日まで

### 3 審査の方法

平成24年度各会計歳入歳出決算書及び関係書類に基づき、照合審査を行うとともに、出納検査等を参考にして関係者の説明を聴取し実施した。

審査にあたって、次のことについて特に留意した。

歳入

- 収入成績（収入未済の状況）
- 予算現額や調定額に比し、著しく増減のあったものについてはその理由
- 収入処理の適否

歳出

- 違法・不当な支出はなかったか
- 予算がその目的に合致するよう執行されたか
- 執行に怠慢がなく、かつ、効果的であったか
- 計数は正確で、かつ、関係帳簿と一致しているか

#### 4 審査の意見

平成24年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算は、審査に付された決算書及び同附属書類並びに関係諸帳簿、資料等を照合審査した結果、計数はいずれも正確であることを確認した。

また、予算の執行等について、おおむね適正に処理されているものと認められた。

なお、留意事項等は、次のとおりである。

##### (1) 行財政全般について

平成24年度の一般会計歳入決算は、40,165,222,879円、歳出決算は、37,256,576,830円（前年度比97.5%）である。

歳入を前年度と比較すると、市税収入は、市民税（7.0%）は増加したものの全体では減少（△1.6%）し、さらに地方交付税、国庫支出金などが減少したことから、歳入全体で637,529,150円（△1.6%）の減少となった。歳出では、民生費（6.1%）、消防費（41.2%）が増加したものの、総務費（△10.1%）、衛生費（△9.0%）、土木費（△3.9%）、教育費（△24.5%）など、それぞれ前年度を下回り、歳出全体では、960,617,440円（△2.5%）の減少となった。

この結果、翌年度繰り越すべき財源を除いた実質収支額は、昨年度と比較し

て4,715,785円減少したものの、2,341,016,414円の黒字となっている。

今後の財政運営においても、「加須市総合振興計画」の実現に向けて尽力されるとともに、自主財源の確保や限られた財源の重点配分、更には徹底した無駄の排除など経費支出の効率化に努め、機動的・弾力的な財政運営を望むものである。

引き続き、自立した自治体経営を図るために、職員の政策立案能力の向上や組織の見直しなど、地方自治法の期待する「最少経費による最大の効果」が得られるよう、簡素で効率的な行財政運営を図られたい。

## (2) 収入未収金の確保対策について

一般会計の歳入面での収入未済額が、市税で550,167,874円、分担金及び負担金で27,895,962円、使用料及び手数料で5,886,440円、諸収入で61,754,720円、合計645,704,996円となっており、前年度比26.0%の減少となった。これは、税を中心として、市をあげての収納対策の取組実績が成果として表れたものである。

特別会計の収入未済額は、住宅新築資金等貸付事業特別会計の63,180,595円、国民健康保険事業特別会計の600,561,983円、後期高齢者医療特別会計の4,898,160円、介護保険事業特別会計の32,150,990円、農業集落排水事業特別会計の6,164,151円であり一般会計と特別会計を合わせると収入未済額は1,352,660,875円である。

さらに、市税や国民健康保険税並びに使用料や貸付金などの徴収率の向上と収入未済額の縮減、債権管理の適正化を図るなど、引き続き歳入確保に向けて、なお一層の努力を望むものである。

## (3) 経営改革等への取組みについて

厳しい行財政環境にあつては、「加須やぐるまマネジメントサイクル」(PDCA)により着実に事務事業を推進し、その実施成果を的確に評価をし、その評価でとらえられた改革・改善点を今後の事業に反映していくよう努められ

たい。特に、マネジメントサイクルの「C」（チェック）段階の事業実施成果をできるだけ明らかにするよう努められたい。

#### （４）マネジメントリスクへの対応について

最近、行政を取り巻く諸課題を、自然災害等の発生といった危機管理事象だけでなく、行政運営・経営上の諸問題を予めリスクとして洗い出し、その内容を影響度と頻度によって分析し、その重要度を評価・特定した上で、対応策を講じることによって、問題の発生を未然に防止することが求められている。

今後、様々なリスクに対しては、市長の統制の下、庁内各部門がかかわるリスクについて、総合的にリスクマネジメントを実践し、各部門においてもリスクマネジメントのPDCAの活動を確実に実行されることを望むものである。

以上それぞれ総括的な意見を申し上げたが、健全な財政運営を基調に中長期的展望の下、的確に社会情勢を見極めるとともに、福祉の充実や地域の特性を活かした均衡ある発展を図るなど、市民満足度の高い行政経営を図られたい。

### 5 主要な財政指標の分析

	平成24年度	平成23年度
経常収支比率	83.7%	82.8%
財政力指数	0.736	0.738
実質公債費比率	8.8%	9.0%
義務的経費比率	51.8%	50.3%

\* 普通会計ベースの数値

#### （１）経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する指標の一つとして用いられている。これは、経常的な経費に、市税、地方交付税を中心とした一般財源がどの程度充当されているかを判断する指標として用いられるもので、この数値が高いほど財政が硬直化していることになり、75%程度が妥当とされている。



本年度は 83.7%で、前年度に比べて 0.9 ポイント上昇している。

## (2) 財政力指数

財政力の強弱を示す指標である。普通交付税の算定に用いられる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去 3 か年の平均値。

この数値が、「1」を超えるほど財政力がある。

本年度は 0.736 で、前年度に比べて 0.002 ポイント低下している。

## (3) 実質公債費比率

従来の起債制限比率にかわるもの。健全化の判断比率である。

実質公債比率が 18%以上になると地方債許可団体に移行することとなり、25%以上になると早期健全化団体となる。

本年度は 8.8%で、前年度に比べて 0.2 ポイント低下した。

## (4) 義務的経費比率

歳出のうち、極めて硬直性の強い経費として、人件費、扶助費、公債費の三つを義務的経費という。この義務的経費比率が大きいほど財政の硬直化が進んでいるといわれている。

本年度は 51.8%で、前年度に比べて 1.5 ポイント上昇している。

## 6 決算の状況

### (1) 各会計の総括

平成 24 年度一般会計及び特別会計の歳入決算額は、総計で 61,975,901,183 円（一般会計 40,165,222,879 円、特別会計 21,810,678,304 円）で、前年度に比べ 1,096,648,737 円（1.8%）増加し、歳出決算額は 57,546,078,462 円（一般会計 37,256,576,830 円、特別会計 20,289,501,632 円）で、前年度に比べ 454,472,320 円（0.8%）増加である。

詳細は、「表 1（P 6、7）」のとおりである。

表 1 平成24年度一般会計・特別会計決算総括表

区 分		一般会計	特 別				
			住宅資金	国民健康保険	国保診療所	後期高齢者	介護保険
歳 入	A	40,165,222,879	8,241,432	13,283,356,694	140,873,066	860,485,430	6,250,661,611
歳 出	B	37,256,576,830	2,609,146	12,258,794,046	122,507,795	847,020,447	5,998,707,296
差引残額	A-B	2,908,646,049	5,632,286	1,024,562,648	18,365,271	13,464,983	251,954,315
繰越財源		567,629,635	0	0	0	0	0
実質収支	24年度 C	2,341,016,414	5,632,286	1,024,562,648	18,365,271	13,464,983	251,954,315
	23年度 D	2,345,732,199	4,857,628	691,348,995	32,564,859	16,017,588	221,276,027
単年度 収 支	(C-D)E	△ 4,715,785	774,658	333,213,653	△ 14,199,588	△ 2,552,605	30,678,288
積立金増減 (財政調 整基金)	F	△ 136,187,738	0	0	0	0	0
繰上 償還金	G	241,029,453	0	0	0	0	0
実質単年度 収 支	E+F+G	100,125,930	774,658	333,213,653	△ 14,199,588	△ 2,552,605	30,678,288

(単位:円)

会 計						合 計
農業集落 排水	不動岡 区画	三俣第二 区画	野中区画	栗橋駅西 区画	河野博士	
750,044,195	79,364,009	80,276,234	264,111,510	87,302,498	5,961,625	61,975,901,183
613,451,030	63,364,668	47,870,370	245,852,023	83,528,395	5,796,416	57,546,078,462
136,593,165	15,999,341	32,405,864	18,259,487	3,774,103	165,209	4,429,822,721
0	0	0	13,496,000	0	0	581,125,635
136,593,165	15,999,341	32,405,864	4,763,487	3,774,103	165,209	3,848,697,086
143,719,928	7,590,425	58,626,745	3,589,394	5,362,296	165,175	3,530,851,259
△ 7,126,763	8,408,916	△ 26,220,881	1,174,093	△ 1,588,193	34	317,845,827
0	0	0	0	0	0	△ 136,187,738
0	0	0	0	0	0	241,029,453
△ 7,126,763	8,408,916	△ 26,220,881	1,174,093	△ 1,588,193	34	422,687,542

(2) 一般会計

(単位 円)

年 度 区 分	平成24年度	平成23年度	前年度比
			24/23
予算現額	40,287,912,560	40,521,117,738	99.4%
収入済額	40,165,222,879	40,802,752,029	98.4
支出済額	37,256,576,830	38,217,194,270	97.5
差引残額	2,908,646,049	2,585,557,759	112.5
翌年度へ繰り越すべき財源	567,629,635	239,825,560	236.7
実質収支額	2,341,016,414	2,345,732,199	99.8

歳入歳出決算額は

歳入 40,165,222,879 円 (予算現額に対して 99.7%)

歳出 37,256,576,830 円 ( " 92.5%)

で歳入歳出差引額は 2,908,646,049 円である。翌年度へ繰り越すべき財源 567,629,635 円を差し引いた 2,341,016,414 円が実質収支額である。

単年度収支では、前年度実質収支額が 2,345,732,199 円であったので 4,715,785 円の赤字であり、この額に財政調整基金の減額分 136,187,738 円を減額し、繰上償還金 241,029,453 円を加えた実質単年度収支は 100,125,930 円の黒字となった。

## ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
		24/23		
予 算	当初予算額 (A)	37,230,000,000	36,630,000,000	101.6%
	補正予算等 (B)	3,057,912,560	3,891,117,738	78.6
	増減率 (B / A)	8.2%	10.6%	-
	予算現額	40,287,912,560	40,521,117,738	99.4
調 定 額		40,970,055,023	41,881,091,014	97.8
収 入 済 額		40,165,222,879	40,802,752,029	98.4
収 入 率	対 予 算 現 額	99.7%	100.7%	-
	対 調 定 額	98.0%	97.4%	-
不 納 欠 損 額		159,127,148	206,186,649	77.2
収 入 未 済 額		645,704,996	872,152,336	74.0

本年度の収入済額は40,165,222,879円で、予算現額40,287,912,560円に対して99.7%の収入率となり、前年度(100.7%)に比して1.0ポイント下回った。また、調定額40,970,055,023円に対して98.0%の収入率で、前年度(97.4%)に比して0.6ポイント上回った。

なお、収入未済額は645,704,996円で、前年度に比し226,447,340円(26.0%)の減少である。

一般会計の歳入総計では、前年度より637,529,150円(1.6%)減少した。款別歳入決算財源比較表「表2(P10、11)」のとおりである。この中で、自主財源の内、財産収入、繰入金が増加し、市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、寄付金、繰越金、諸収入が減少した。また、依存財源では、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、自動車取得税交付金、県支出金、市債が増加し、地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国庫支出金が減少した。

表 2 平成24年度一般会計款別歳入決算財源比較表

区 分		決 算 額		構成比率%		前年度 比率%
		24	23	24	23	24/23
自 主 財 源	市 税	15,389,528,505	15,414,852,818	38.3	37.8	99.8
	分担金及び負担金	440,587,089	457,489,966	1.1	1.1	96.3
	使用料及び手数料	483,814,431	488,063,038	1.2	1.2	99.1
	財産収入	182,758,804	110,991,893	0.5	0.3	164.7
	寄附金	4,805,602	7,096,024	0.0	0.0	67.7
	繰入金	1,036,073,517	443,495,891	2.6	1.1	233.6
	繰越金	2,585,557,759	2,914,708,320	6.4	7.1	88.7
	諸収入	1,237,818,693	1,740,126,191	3.1	4.3	71.1
	小 計	21,360,944,400	21,576,824,141	53.2	52.9	99.0
依 存 財 源	地方譲与税	541,052,750	577,514,714	1.3	1.4	93.7
	利子割交付金	28,769,000	32,719,000	0.1	0.1	87.9
	配当割交付金	28,984,000	25,524,000	0.1	0.1	113.6
	株式等譲渡所得割交付金	8,368,000	6,317,000	0.0	0.0	132.5
	地方消費税交付金	996,667,000	997,984,000	2.5	2.4	99.9
	自動車取得税交付金	234,518,000	132,193,000	0.6	0.3	177.4
	地方特例交付金	83,168,000	214,651,000	0.2	0.5	38.7
	地方交付税	7,093,879,000	7,338,782,000	17.6	18.0	96.7
	交通安全対策特別交付金	25,477,000	25,936,000	0.1	0.1	98.2
	国庫支出金	4,085,443,556	4,247,323,620	10.2	10.4	96.2
	県支出金	2,407,665,173	2,371,397,554	6.0	5.8	101.5
	市 債	3,270,287,000	3,255,586,000	8.1	8.0	100.5
	小 計	18,804,278,479	19,225,927,888	46.8	47.1	97.8
	合 計	40,165,222,879	40,802,752,029	100.0	100.0	98.4

(単位:円)

予算に対する 収入割合%		調定額に対する 収入割合%		(欠損処分額) 収 入 未 済 額		前年度 比率%
24	23	24	23	24	23	24/23
				( 155,491,626 )	( 202,421,841 )	76.8
100.6	100.8	95.6	94.0	550,167,874	783,158,263	70.2
				( 2,939,190 )	( 3,764,808 )	78.1
90.6	94.0	93.5	92.8	27,895,962	31,590,530	88.3
				( 0 )	( 0 )	
113.8	114.8	98.8	98.7	5,886,440	6,265,973	93.9
197.1	119.7	100.0	100.0	0	0	
72.0	106.3	100.0	100.0	0	0	
237.0	101.5	100.0	100.0	0	0	
88.3	99.5	100.0	100.0	0	0	
				( 696,332 )	( 0 )	
76.4	107.4	95.2	97.1	61,754,720	51,137,570	120.8
				( 159,127,148 )	( 206,186,649 )	77.2
100.3	101.4	96.4	95.2	645,704,996	872,152,336	74.0
97.7	104.2	100.0	100.0	0	0	
87.2	99.1	100.0	100.0	0	0	
144.9	127.6	100.0	100.0	0	0	
93.0	70.2	100.0	100.0	0	0	
103.3	103.4	100.0	100.0	0	0	
105.6	59.5	100.0	100.0	0	0	
38.7	100.0	100.0	100.0	0	0	
104.4	108.0	100.0	100.0	0	0	
91.0	92.6	100.0	100.0	0	0	
91.7	95.3	100.0	100.0	0	0	
92.9	91.5	100.0	100.0	0	0	
97.8	97.4	100.0	100.0	0	0	
97.8	100.0	100.0	100.0	0	0	
				( 159,127,148 )	( 206,186,649 )	77.2
99.1	100.7	98.0	97.4	645,704,996	872,152,336	74.0

主たる歳入である、市税及び地方交付税の状況は、次のとおりである。

## 市 税

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比 24/23
		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	
予 算	当 初 予 算 額	14,759,997,000	15,291,640,000	96.5%
	補 正 予 算 額	200,000,000	0	-
	予 算 現 額	14,959,997,000	15,291,640,000	97.8
調 定 額		16,095,188,005	16,400,432,922	98.1
収 入 済 額		15,389,528,505	15,414,852,818	99.8
収 入 率	対 予 算 現 額	102.9%	100.8%	-
	対 調 定 額	95.6%	94.0%	-
不 納 欠 損 額		155,491,626	202,421,841	76.8
収 入 未 済 額		550,167,874	783,158,263	70.2

歳入全体収入済額の 38.3% (前年度 37.8%) を占める市税収入は、15,389,528,505 円で、予算現額に対する収入率は 102.9%、調定額に対する収入率は 95.6% であり、収入済額は前年度に比し 25,324,313 円 (0.2%) の減少である。

市税の内訳・収入未済額等は「表 3 (P 14、15)」のとおりである。

## 市民税課税状況 (現年度)

(単位 千円)

所得 区分	年度	納税 義務者 人	対前年度 比較増減	総所得 金額	対前年度 比較増減	課税額	対前年度 比較増減	税額 構成比
給与	24	49,082	%	131,069,880	%	4,855,428	%	86.9
	23	48,766	0.6	132,309,432	-0.9	4,704,528	3.2	87.4
営業	24	2,480		6,165,366		234,037		4.2
	23	2,488	-0.3	6,168,688	-0.1	217,286	7.7	4.0
農業	24	397		135,772		28,829		0.5
	23	265	49.8	-715,777	119.0	14,971	92.6	0.3
その他	24	8,644		15,845,639		467,400		8.4
	23	8,229	5.0	15,638,094	1.3	449,331	4.0	8.3
計	24	60,603		153,216,657		5,585,694		100.0
	23	59,748	1.4	153,400,437	-0.1	5,386,116	3.7	100.0



## 地方交付税

予算現額 6,707,336 千円に対し収入済額は 7,093,879 千円で 386,543 千円 (5.8%) の増加である。

普通交付税の収入済額は 6,204,336 千円で前年度に比し 179,357 千円 (2.8%) の減少、特別交付税の収入済額は 884,637 千円で前年度に比し 10,720 千円 (1.2%) の減少である。また、震災復興特別交付税は、4,906 千円で、前年度に比し、54,826 千円 (91.8%) の減少である。

### 地方交付税の推移

(単位 千円)

区 分		年 度		増 減
		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	
普 通 交 付 税	① 基準財政需要額	18,832,261	19,431,366	△599,105
	② 基準財政収入額	12,627,925	13,047,827	△419,902
	③ (① - ②)	6,204,336	6,383,539	△179,203
	④ ① × 調整率	0	0	0
	⑤ 追加交付額	0	154	△154
	③ - ④ + ⑤	6,204,336	6,383,693	△179,357
特 別 交 付 税		884,637	895,357	△10,720
震 災 復 興 特 別 交 付 税		4,906	59,732	△54,826
合 計		7,093,879	7,338,782	△244,903

表 3 平成24年度市税比較表

区 分			予算現額 千円	収 入 済 額		不納欠損額
				当年度	対前年度 増・減	当年度
市民税	個人	現年分	5,342,670	5,483,659,254	220,365,177	0
		滞納分	79,023	122,338,323	21,239,162	85,146,255
	法人	現年分	1,037,712	1,127,970,000	198,561,500	0
		滞納分	2,083	2,999,726	1,215,842	1,483,000
	小 計		6,461,488	6,736,967,303	441,381,681	86,629,255
固定資産税		現年分	6,771,560	6,840,664,565	△ 454,352,558	0
		滞納分	101,711	143,827,393	39,975,481	61,537,376
	国交納	現年分	81,595	81,596,700	△ 2,055,300	0
	小 計		6,954,866	7,066,088,658	△ 416,432,377	61,537,376
軽自動車税		現年分	205,192	212,282,740	6,810,318	0
		滞納分	2,334	3,169,400	168,900	2,097,100
小 計		207,526	215,452,140	6,979,218	2,097,100	
市町村たばこ税		現年分	756,496	777,654,364	△ 14,148,934	0
都市計画税		現年分	570,680	581,147,214	△ 46,389,116	0
		滞納分	8,941	12,218,826	3,285,215	5,227,895
小 計		579,621	593,366,040	△ 43,103,901	5,227,895	
合 計			14,959,997	15,389,528,505	△ 25,324,313	155,491,626

不納欠損額	収 入 未 済 額		収 入 済 額			
	当 年 度	対前年度 増・減	構 成 比 %		増減 率%	予 算 対比%
			24	23	24	
△ 45,410	102,035,433	△ 20,741,458	35.6	34.1	4.2	102.6
△ 1,747,418	150,058,487	△ 81,856,896	0.8	0.7	21.0	154.8
0	43,600	△ 4,431,700	7.3	6.0	21.4	108.7
△ 2,269,880	3,545,074	△ 8,826	0.0	0.0	68.2	144.0
△ 4,062,708	255,682,594	△ 107,038,880	47.7	40.8	7.0	104.3
△ 5,525	90,951,735	△ 31,953,117	44.5	47.3	△ 6.2	101.0
△ 38,539,869	174,657,031	△ 82,086,268	0.9	0.7	38.5	141.4
0	0	0	0.5	0.5	△ 2.5	100.0
△ 38,545,394	265,608,766	△ 114,039,385	45.9	48.5	△ 5.6	101.6
0	3,512,760	△ 1,091,718	1.4	1.3	3.3	103.5
△ 940,628	2,799,017	△ 726,822	0.0	0.0	5.6	135.8
△ 940,628	6,311,777	△ 1,818,540	1.4	1.4	3.3	103.8
0	0	0	5.1	5.1	△ 1.8	102.8
△ 475	7,726,786	△ 2,845,809	3.8	4.1	△ 7.4	101.8
△ 3,381,010	14,837,951	△ 7,247,775	0.1	0.1	36.8	136.7
△ 3,381,485	22,564,737	△ 10,093,584	3.9	4.1	△ 6.8	102.4
△ 46,930,215	550,167,874	△ 232,990,389	100.0	100.0	△ 0.2	102.9

## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	37,230,000,000	36,630,000,000	101.6%
	補正予算等 (B)	3,057,912,560	3,891,117,738	78.6
	増減率 (B/A)	8.2%	10.6%	-
	予 算 現 額	40,287,912,560	40,521,117,738	99.4
支 出 済 額		37,256,576,830	38,217,194,270	97.5
差 引 残 額		3,031,335,730	2,303,923,468	131.6
翌 年 度 繰 越 額		1,414,202,635	492,295,560	287.3
不 用 額		1,617,133,095	1,811,627,908	89.3
執 行 率		92.5%	94.3%	-

支出済額は 37,256,576,830 円で予算現額 40,287,912,560 円に対して 92.5%の執行率であり、前年度を 1.8 ポイント下回った。

前年度と比較して、予算現額、支出済額ともに減少している。

また、予算現額から支出済額を差し引いた残額は 3,031,335,730 円となるが、1,414,202,635 円が翌年度に繰り越されているため、不用額は 1,617,133,095 円である。このうち予備費に係る不用額は 12,518,886 円（前年度 9,060,101 円）である。

「表 4 (P 18)」の一般会計歳出決算（目的別）比較表をみると、前年度比率では衛生費、土木費、教育費等で減少し、全体では 2.5%の減少となった。

また、「表 5 (P 19)」の一般会計歳出決算（性質別）比較表をみると、前年度比率では物件費、扶助費、公債費等が増加し、人件費、補助費等、普通建設事業等が減少した。

なお、各款における主な不用額の理由は「表6（P20～23）」のとおりである。

表 4 平成24年度一般会計歳出決算(目的別)比較表

(単位:円)

区分	平成24年度					平成23年度			
	支出済額	構成比	執行率	対前年増減率	不用額	支出済額	構成比	執行率	不用額
1 議会費	364,872,244	1.0	98.3	△ 16.4	6,276,756	436,640,263	1.1	97.7	10,101,737
2 総務費	6,078,446,114	16.3	96.0	△ 10.1	221,489,395	6,758,460,646	17.7	96.0	237,689,263
3 民生費	12,747,135,742	34.2	97.4	6.1	346,542,158	12,010,770,709	31.4	96.1	430,077,409
4 衛生費	2,737,621,988	7.3	93.0	△ 9.0	206,172,872	3,009,797,489	7.9	92.5	227,391,571
5 労働費	173,779,841	0.5	98.5	△ 9.4	2,681,159	191,717,759	0.5	97.6	4,769,241
6 農林水産業費	1,223,907,077	3.3	92.8	△ 9.0	29,988,923	1,344,739,113	3.5	93.7	84,985,387
7 商工費	502,741,218	1.3	95.8	△ 1.7	21,785,782	511,243,934	1.3	94.9	18,611,066
8 土木費	3,378,790,507	9.1	79.7	△ 3.9	236,440,293	3,516,204,143	9.2	87.7	272,938,197
9 消防費	2,118,509,855	5.7	90.5	41.2	182,116,115	1,500,498,719	3.9	91.7	123,829,475
10 教育費	3,673,305,610	9.9	78.6	△ 24.5	350,637,390	4,863,860,844	12.7	91.7	306,782,112
11 公債費	4,257,466,634	11.4	100.0	4.5	381,366	4,073,158,651	10.7	99.9	85,392,349
12 諸支出金	0	0.0	0.0	△ 100.0	102,000	102,000	0.0	100.0	0
13 予備費	0	-	-	-	12,518,886	0	-	-	9,060,101
合計	37,256,576,830	100.0	92.5	△ 2.5	1,617,133,095	38,217,194,270	100.0	94.3	1,811,627,908

表 5 平成24年度一般会計歳出決算(性質別)比較表

(単位):千円

区 分	決 算 額		構 成 比 %		前年度比率%
	24	23	24	23	24/23
人件費	7,283,321	7,493,450	19.6	19.6	97.2
(うち職員給)	(4,964,947)	(5,094,074)	(13)	(13)	97.5
物件費	5,601,531	5,547,447	15.0	14.5	101.0
維持補修費	629,731	538,329	1.7	1.4	117.0
扶助費	7,761,852	7,496,167	20.8	19.6	103.5
補助費等	2,462,094	2,629,517	6.6	6.9	93.6
公債費	4,257,467	4,073,159	11.4	10.7	104.5
積立金	1,314,326	2,485,057	3.5	6.5	52.9
投資及び出資金	0	0			-
貸付金	428,000	432,420	1.2	1.1	99.0
繰出金	3,882,229	3,521,297	10.4	9.2	110.2
普通建設事業費	3,635,140	3,855,446	9.8	10.1	94.3
災害復旧事業費	885	144,905	0.0	0.4	0.6
合 計	37,256,576	38,217,194	100.0	100.0	97.5

表 6 平成24年度一般会計歳出決算の主な不用額調(5,000千円以上)

款	項	目	事業名	節	予算現額	支払済額
総務費	総務管理費	一般管理費	職員人件費	3 職員手当等	419,058	410,952
			人事管理事業	7 賃金	5,177	0
		文書広報費	文書管理事業	12 役務費	42,062	32,312
		財産管理費	大利根総合支所耐震対策事業	15 工事請負費	136,905	109,965
		企画費	コミュニティバス運行事業	19 負担金補助及び交付金	41,689	32,863
		電算管理費	情報管理事業	14 使用料及び賃借料	89,561	75,556
	徴税費	賦課徴収費	税務管理事業	23 償還金利子及び割引料	67,000	53,257
			市県民税賦課事業	13 委託料	20,681	14,779
			固定資産税賦課事業	13 委託料	41,515	30,076
民生費	社会福祉費	障害者福祉費	在宅重度心身障害者手当支給事業	20 扶助費	77,760	71,813
			重度心身障害者医療費支給事業	20 扶助費	250,000	241,324
		自立支援給付費	障害者自立支援事業	19 負担金補助及び交付金	6,101	674
				20 扶助費	1,224,633	1,207,759
		老人福祉費	老人ホーム入所事業	13 委託料	71,845	53,173
			後期高齢者医療事業	28 繰出金	213,164	200,908
	児童福祉費	児童福祉総務費	ひとり親家庭等医療費事業	20 扶助費	53,920	29,196
				7 賃金	94,614	77,424
				15 工事請負費	50,612	35,562
				12 役務費	18,401	13,049
					20 扶助費	382,817
		児童措置費	民間保育所等運営委託事業	13 委託料	1,202,563	1,177,221
		児童福祉施設費	公立保育所運営事業	7 賃金	152,468	135,564
		児童館費	利根川児童館整備事業	15 工事請負費	164,029	158,766
	生活保護費			生活保護総務費	住宅手当緊急特別措置事業	20 扶助費
生活保護費	扶助費	生活保護事業	20 扶助費	1,503,419	1,457,986	
		保健衛生費	保健衛生総務費	妊婦保健事業	13 委託料	78,220
予防費	がん検診事業	13 委託料		22,157	13,232	
		13 委託料		101,240	86,982	
	予防接種事業	13 委託料		301,433	266,698	



(単位:千円)

執行率	繰越額	不用額	理 由
98.1%		8,106	時間外勤務手当の支出が当初見込みより少なかったため
0.0%		5,177	各課配当後の残。臨時雇用が当初見込みより少なかったため
76.8%		9,750	電子メールを活用したり、同一郵送先の郵便物をまとめて送るなどしたため
80.3%		26,940	入札等による執行残のため
78.8%		8,826	実績額が当初の申請額より低額であったため
84.4%		14,005	再リースによる執行残のため
79.5%		13,743	還付対象が見込みより少なかったため
71.5%		5,902	入札等による執行残のため
72.4%		11,439	入札等による執行残のため
92.4%		5,947	手当の対象者が、当初見込より少なかったため
96.5%		8,676	対象医療費の支出が、当初見込額より少なかったため
11.0%		5,427	補助金の支出が当初見込額より少なかったため
98.6%		16,875	扶助費の支出が当初見込額より少なかったため
74.0%		18,672	当初見込み(38人/月)より入所者数(27人/月)が少なかったため
94.3%		12,256	保険基盤安定負担金が少なかったため。また、保養施設利用助成事業に補助金があったため、及び健康診査受診者数が少なかったため
54.1%		24,724	当初見込みより申請件数が少なかったため
81.8%		17,189	臨時職員(学童指導員)登録者の確保が難しく、当初見込みより採用人数が少なかったため
70.3%		15,050	入札等による執行残のため
70.9%		5,352	当初見込みより申請件数が少なかったため
97.5%		9,408	当初見込みより申請件数が少なかったため
97.9%		25,342	民間保育所への入所児童数が見込みより少なかったため
88.9%		16,904	臨時職員(保育士)登録者の確保が難しく、見込みより採用人数が少なかったため
96.8%		5,263	入札等による執行残のため
36.8%		10,853	住宅手当の支出が当初見込額より少なかったため
97.0%		45,433	扶助費の支出が当初見込額より少なかったため
79.3%		16,156	受診者が当初見込みより少なかったため
59.7%		8,925	乳がん検診受診者が当初見込みより少なかったため
85.9%		14,259	受診者数が当初見込みより少なかったため
88.5%		34,735	被接種者数が当初見込みより少なかったため

※端数整理のため差額等が一致しない場合がある。

款	項	目	事業名	節		予算現額	支払済額	
衛生費	保健衛生費	環境衛生費	ごみ減量化啓発事業	13	委託料	7,526	2,365	
			ごみ減量化啓発事業	19	負担金補助及び交付金	16,720	11,385	
			災害対策ごみ適正処理事業	13	委託料	12,830	3,189	
	清掃費	じん芥処理費	ごみ収集事業	13	委託料	299,069	283,552	
			ごみ処理施設管理運営事業(加須クリーンセンター)	13	委託料	286,850	269,439	
			ごみ処理施設管理運営事業(大利根クリーンセンター)	13	委託料	161,470	134,924	
土木費	道路橋りょう費	道路橋りょう総務費	道路橋りょう管理事業	13	委託料	39,930	25,764	
			地籍調査事業	13	委託料	16,645	10,553	
		道路新設改良費	幹線道路新設改良事業		13	委託料	43,149	33,164
					15	工事請負費	570,893	177,698
					17	公有財産購入費	43,230	12,392
					22	補償補填及び賠償金	121,477	58,677
		生活道路新設改良事業	22	補償補填及び賠償金	68,012	36,948		
	都市計画費	都市下水道費	溢水対策整備事業	15	工事請負費	82,465	69,638	
消防費	消防費	非常備消防費	消防団活動事業	8	報償費	22,550	5,582	
		消防施設費	新消防庁舎整備事業	15	工事請負費	209,983	143,000	
		防災費	防災行政無線統合再整備事業	15	工事請負費	377,593	302,300	
教育費	小学校費	学校管理費	小学校管理運営事業	11	需用費	68,007	61,253	
			小学校施設整備事業	13	委託料	30,696	753	
				15	工事請負費	137,251	24,406	
	中学校費	学校管理費	中学校管理運営事業	11	需用費	42,362	34,596	
		教育振興費	中学校就学援助事業	20	扶助費	43,256	38,223	
	幼稚園費	幼稚園費	幼稚園施設整備事業	15	工事請負費	143,297	5,515	
			幼稚園保健管理事業	7	賃金	38,832	33,428	
	保健体育費	学校給食費	給食センター管理運営事業		11	需用費(消耗品費)	18,324	7,028
					11	需用費(燃料費)	24,156	17,456
					11	需用費(光熱水費)	40,748	29,384
				11	需用費(賄材料費)	377,321	372,223	
				13	委託料	134,492	114,101	

(単位:千円)

執行率	繰越額	不用額	理 由
31.4%		5,161	PR 製造業務を指定ごみ袋製造配送業務と合わせて委託し、委託料削減を図ったため
68.1%		5,335	補助金申請件数が当初見込みより少なかったため
24.9%		9,640	処理困難物の処理量が当初見込みより少なかったため
94.8%		15,517	入札等による執行残のため
93.9%		17,411	運転管理委託の入札による執行残のため
83.6%		26,546	運転管理委託の入札による執行残と、放射能の影響により限定されていた焼却灰の処理処分先について、安価な処分先が確保できたため
64.5%		14,166	境界確認・確定業務及び調査・測量・登記・監理委託の案件が当初見込みより少なかったため
63.4%		6,093	市予算確定後に国県補助事業費が減額になったためと入札による執行残のため
76.9%		9,984	入札等による執行残のため
31.1%	361,500	31,695	入札等による執行残のため
28.7%	4,500	26,338	土地購入価格が当初見込みより安かったため
48.3%	33,600	29,200	補償料が当初見込みより安かったため
54.3%	17,300	13,764	補償料が当初見込みより安かったため
84.4%	3,386	9,441	入札等による執行残のため
24.8%		16,968	当初見込みより退団者が少なかったため
68.1%	10,600	56,383	入札等による執行残のため
80.1%	27,910	47,383	入札等による執行残のため
90.1%		6,754	節電・節水に努めたため
2.5%	13,133	16,810	入札等による執行残のため
17.8%		112,845	水深小学校増築工事の入札等による執行残のため
81.7%		7,766	節電・節水に努めたため
88.4%		5,033	当初見込みより受給者が少なかったため
3.8%	113,652	24,130	入札等による執行残のため
86.1%		5,404	臨時雇用が当初見込みより少なくて済んだため
38.4%		11,296	新センターでの年間実績がなく、洗剤、消毒剤等が当初見込みより使用が少なかったため
72.3%		6,700	新センターでの年間実績がなく、当初見込みより使用が少なかったため
72.1%		11,364	新センターでの年間実績がなく、当初見込みより使用が少なかったため
98.6%		5,098	児童・生徒数が当初見込みより少なかったため
84.8%		20,391	新センターでの実績がなく、排水汚泥引抜が当初見込みより少なかったため

※端数整理のため差額等が一致しない場合がある。

### (3) 加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 8,241,432 円 (予算現額に対して 315.5%)

歳出 2,609,146 円 ( " 99.9%)

で、差引残額が 5,632,286 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかった  
ので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 4,857,628 円であったので 774,658  
円の黒字である。

#### ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比
		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	24/23
予 算	当初予算額 (A)	7,399,000	2,617,000	282.7%
	補正予算等 (B)	△4,787,000	0	-
	増減率 (B/A)	△64.7%	0%	-
	予算現額	2,612,000	2,617,000	99.8
調 定 額		71,442,027	71,208,062	100.3
収 入 済 額		8,241,432	7,472,351	110.3
収 入 率	対 予 算 現 額	315.5%	285.5%	-
	対 調 定 額	11.5%	10.5%	-
不 納 欠 損 額		0	0	0
収 入 未 済 額		63,180,595	63,735,711	99.1

本年度の収入済額は 8,241,432 円で、予算現額 2,612,000 円に対して  
315.5%の収入率となり、前年度(285.5%)に比して 30.0 ポイント上回った。  
また、調定額 71,442,027 円に対して 11.5%の収入率で、前年度(10.5%)に  
比して 1.0 ポイント上回った。

なお、収入未済額は 63,180,595 円で、前年度に比し 555,116 円(0.9%)の  
減少である。

## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	7,399,000	2,617,000	282.7%
	補正予算等 (B)	△4,787,000	0	-
	増減率 (B/A)	△64.7%	0%	-
	予 算 現 額	2,612,000	2,617,000	99.8
支 出 済 額		2,609,146	2,614,723	99.8
差 引 残 額		2,854	2,277	125.3
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		2,854	2,277	125.3
執 行 率		99.9%	99.9%	-

支出済額は2,609,146円で、予算現額2,612,000円に対し99.9%の執行率である。

支出済額は前年度に比し5,577円(0.2%)の減少である。

不用額は2,854円で、前年度に比し577円(25.3%)の増加である。

(4) 加須市国民健康保険事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 13,283,356,694 円 (予算現額に対して 104.5%)

歳出 12,258,794,046 円 ( " 96.4%)

で差引残額が 1,024,562,648 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかった  
ので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 691,348,995 円であったので  
333,213,653 円の黒字である。

なお、実質収支額のうち、地方自治法第 233 条の 2 の規定による基金繰  
入額は 100 千円である。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 24 年度	平成 23 年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	12,599,050,000	11,666,020,000	108.0%
	補正予算等 (B)	112,521,000	308,415,000	36.5
	増減率 (B/A)	0.9%	2.6%	-
	予算現額	12,711,571,000	11,974,435,000	106.2
調 定 額		14,114,380,906	13,348,311,033	105.7
収 入 済 額		13,283,356,694	12,330,130,661	107.7
収 入 率	対 予 算 現 額	104.5%	103.0%	-
	対 調 定 額	94.1%	92.4%	-
不 納 欠 損 額		230,462,229	204,857,490	112.5
収 入 未 済 額		600,651,983	813,322,882	73.9

本年度の収入済額は 13,283,356,694 円で、予算現額 12,711,571,000 円に  
対して 104.5%の収入率となり、前年度 (103.0%) に比して 1.5 ポイント上回っ

た。また、調定額 14,114,380,906 円に対して 94.1%の収入率で、前年度 (92.4%) に比して 1.7 ポイント上回った。

なお、収入未済額は 600,651,983 円で、前年度に比し 212,670,899 円 (26.1%) の減少である。

主たる歳入である国民健康保険税の状況は、次のページのとおりである。

## 国民健康保険税

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比
		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	24/23
予 算	当初予算額 (A)	2,610,358,000	2,613,254,000	99.9%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予 算 現 額	2,610,358,000	2,613,254,000	99.9
調 定 額		3,656,732,382	3,744,611,910	97.7
収 入 済 額		2,825,708,170	2,726,431,538	103.6
収 入 率	対 予 算 現 額	108.2%	104.3%	-
	対 調 定 額	77.3%	72.8%	-
不 納 欠 損 額		230,462,229	204,857,490	112.5
収 入 未 済 額		600,561,983	813,322,882	73.8

歳入総額の 21.3% (前年度は 22.1%) を占める国民健康保険税収入は 2,825,708,170 円で、調定額に対する収入率は 77.3% となり、前年度に比し 99,276,632 円 (3.6%) の増加である。

なお、収入未済額の内訳は、現年度課税分において 240,615,309 円、滞納繰越分において 359,946,674 円の収入未済となったが、前年度の未済額に比し、現年度分は 22,180,186 円、滞納繰越分は 190,580,713 円それぞれ減少である。



## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	12,599,050,000	11,666,020,000	108.0%
	補正予算等 (B)	112,521,000	308,415,000	36.5
	増減率 (B/A)	0.9%	2.6%	-
	予 算 現 額	12,711,571,000	11,974,435,000	106.2
支 出 済 額		12,258,794,046	11,638,781,666	105.3
差 引 残 額		454,776,954	335,653,334	135.5
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		454,776,954	335,653,334	135.5
執 行 率		96.4%	97.2%	-

支出済額は12,258,794,046円で、予算現額12,711,571,000円に対し96.4%の執行率である。

支出済額は前年度に比し620,012,380円(5.3%)の増加である。

不用額は454,776,954円で、前年度に比し119,123,620円(35.5%)の増加である。

(5) 加須市国民健康保険直営診療所特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 140,873,066 円 (予算現額に対して 104.9%)

歳出 122,507,795 円 (予算現額に対して 91.2%)

で、差引残額が 18,365,271 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかった  
たので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 32,564,859 円であったので、  
14,199,588 円の赤字である。

ア 歳入

歳入決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比
		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	24/23
予 算	当初予算額 (A)	116,700,000	112,800,000	103.5%
	補正予算等 (B)	17,600,000	2,416,000	728.5
	増減率 (B/A)	15.1%	2.1%	-
	予算現額	134,300,000	115,216,000	116.6
調 定 額		140,873,066	140,539,620	100.2
収 入 済 額		140,873,066	140,539,620	100.2
収 入 率	対 予 算 現 額	104.9%	122.0%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

収入済額は 140,873,066 円で、予算現額 134,300,000 円に対して 104.9%の  
収入率となり、前年度 (122.1%) に比して、17.1 ポイント下回った。

また、調定額 140,873,066 円に対して 100.0%の収入率で、前年度と同率で  
ある。

## イ 歳出

歳出決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額(A)	116,700,000	112,800,000	103.5%
	補正予算等(B)	17,600,000	2,416,000	728.5
	増減率(B/A)	15.1%	2.1%	-
	予算現額	134,300,000	115,216,000	116.6
支出済額		122,507,795	107,974,761	113.5
差引残額		11,792,205	7,241,239	162.8
翌年度繰越額		0	0	-
不用額		11,792,205	7,241,239	162.8
執行率		91.2%	93.7%	-

支出済額は122,507,795円で、予算現額134,300,000円に対し91.2%の執行率である。

支出済額は前年度に比し14,533,034円(13.5%)の増加である。

不用額は11,792,205円で、前年度比べ4,550,966円(62.8%)の増加である。

(6) 加須市後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 860,485,430 円 (予算現額に対して 98.9%)

歳出 847,020,447 円 ( " 97.4%)

で、差引残額が 13,464,983 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかったもので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 16,017,588 円であったので、2,552,605 円の赤字である。

ア 歳入

決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比
		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	24/23
予 算	当初予算額 (A)	870,040,000	789,575,000	110.2%
	補正予算等 (B)	0	19,819,000	-
	増減率 (B/A)	0%	2.5%	-
	予算現額	870,040,000	809,394,000	107.5
調 定 額		865,844,890	807,562,811	107.2
収 入 済 額		860,485,430	803,279,311	107.1
収 入 率	対 予 算 現 額	98.9%	99.2%	-
	対 調 定 額	99.4%	99.5%	-
不 納 欠 損 額		461,300	794,420	58.1
収 入 未 済 額		4,898,160	3,471,080	141.1

本年度の収入済額は 860,485,430 円で、予算現額 870,040,000 円に対して 98.9%の収入率となった。また、調定額 865,844,890 円に対して 99.4%の収入率で、前年度 (99.5%) に比べ 0.1 ポイント下回った。

なお、収入未済額は 4,898,160 円で、前年度に比し 1,427,080 円 (41.1%) の増加である。

## イ 歳出

決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額(A)	870,040,000	789,575,000	110.2%
	補正予算等(B)	0	19,819,000	-
	増減率(B/A)	0%	2.5%	-
	予 算 現 額	870,040,000	809,394,000	107.5
支 出 済 額		847,020,447	787,279,723	107.6
差 引 残 額		23,019,553	22,114,277	104.1
翌年度繰越額		0	0	-
不 用 額		23,019,553	22,114,277	104.1
執 行 率		97.4%	97.3%	-

支出済額は847,020,447円で、予算現額870,040,000円に対し97.4%の執行率である。

支出済額は前年度に比し59,740,724円(7.6%)の増加である。

不用額は23,019,553円で、前年度に比して905,276円(4.1%)の増加である。

(7) 加須市介護保険事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 6,250,661,611 円 (予算現額に対して 101.2%)

歳出 5,998,707,296 円 ( " 97.1%)

で、差引残額が 251,954,315 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかった  
たので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 221,276,027 円であったので  
30,678,288 円の黒字である。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	6,048,876,000	5,513,102,000	109.7%
	補正予算等 (B)	125,958,000	120,451,000	104.6
	増減率 (B/A)	2.1%	2.2%	-
	予算現額	6,174,834,000	5,633,553,000	109.6
調 定 額		6,294,123,831	5,701,127,948	110.4
収 入 済 額		6,250,661,611	5,664,393,758	110.4
収 入 率	対 予 算 現 額	101.2%	100.5%	-
	対 調 定 額	99.3%	99.4%	-
不 納 欠 損 額		11,311,230	11,168,000	101.3
収 入 未 済 額		32,150,990	25,566,190	125.8

本年度の収入済額は 6,250,661,611 円で、予算現額 6,174,834,000 円に対し  
て 101.2%の収入率となり、前年度 (100.5%) に比して 0.7 ポイント上回っ  
た。また、調定額 6,294,123,831 円に対して 99.3%の収入率で、前年度 (99.4%)  
に比して 0.1 ポイント下回った。

なお、収入未済額は 32,150,990 円で、前年度に比し 6,584,800 円 (25.8%)  
の増加である。

## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	6,048,876,000	5,513,102,000	109.7%
	補正予算等 (B)	125,958,000	120,451,000	104.6
	増減率 (B/A)	2.1%	2.2%	-
	予 算 現 額	6,174,834,000	5,633,553,000	109.6
支 出 済 額		5,998,707,296	5,430,286,731	110.5
差 引 残 額		176,126,704	203,266,269	86.6
翌年度繰越額		0	0	-
不 用 額		176,126,704	187,516,269	93.9
執 行 率		97.1%	96.4%	-

支出済額は5,998,707,296円で、予算現額6,174,834,000円に対し97.1%の執行率である。

支出済額は前年度に比し568,420,565円(10.5%)の増加である。

不用額は176,126,704円で、前年度に比べ11,389,565円(6.1%)の減少である。

(8) 加須市農業集落排水事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入	750,044,195 円	(予算現額に対して 115.6%)
歳出	613,451,030 円	( " 94.6%)

で、差引残額が 136,593,165 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかった  
たので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額 143,719,928 円であったので、  
7,126,763 円の赤字である。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	645,800,000	664,638,000	97.2%
	補正予算等 (B)	3,008,000	0	-
	増減率 (B/A)	0.5%	0%	-
	予 算 現 額	648,808,000	664,638,000	97.6
調 定 額		756,322,481	752,766,860	100.5
収 入 済 額		750,044,195	747,970,054	100.3
収 入 率	対 予 算 現 額	115.6%	112.5%	-
	対 調 定 額	99.2%	99.4%	-
不 納 欠 損 額		114,135	54,276	210.3
収 入 未 済 額		6,164,151	4,742,530	130.0

本年度の収入済額は 750,044,195 円で、予算現額 648,808,000 円に対して  
115.6%の収入率となり、前年度 (112.5%) に比して 3.1 ポイント上回った。  
また、調定額 756,322,481 円に対して 99.2%の収入率で、前年度に比して 0.2  
ポイント下回った。

不納欠損額は、114,135 円で、前年度に比し 59,859 円 (110.3%) の増加、  
収入未済額は 6,164,151 円で、前年度に比し 1,421,621 円 (30.0%) の増加で  
ある。



## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	645,800,000	664,638,000	97.2%
	補正予算等 (B)	3,008,000	0	-
	増減率 (B/A)	0.5%	0%	-
	予 算 現 額	648,808,000	664,638,000	97.6
支 出 済 額		613,451,030	604,250,126	101.5
差 引 残 額		35,356,970	60,387,874	58.5
翌年度繰越額		0	0	-
不 用 額		35,356,970	60,387,874	58.5
執 行 率		94.6%	90.9%	-

支出済額は613,451,030円で、予算現額648,808,000円に対し94.6%の執行率である。

支出済額は前年度に比し9,200,904円(1.5%)の増加である。

不用額は35,356,970円で、前年度に比し25,030,904円(41.5%)の減少である。

(9) 加須都市計画事業不動岡土地区画整理事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 79,364,009 円 (予算現額に対して 124.3%)

歳出 63,364,668 円 ( " 99.2%)

で、差引残額が 15,999,341 円である。なお、翌年度へ繰り越すべき財源はなかったため、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 7,590,425 円であったため、8,408,916 円の黒字である。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	65,560,000	44,084,000	148.7%
	補正予算等 (B)	△1,712,000	0	-
	増減率 (B/A)	△2.6%	0%	-
	予算現額	63,848,000	44,084,000	144.8
調 定 額		79,364,009	37,357,777	212.4
収 入 済 額		79,364,009	37,357,777	212.4
収 入 率	対 予 算 現 額	124.3%	84.7%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

本年度の収入済額は 79,364,009 円で、予算現額 63,848,000 円に対して 124.3%の収入率となり、前年度 (84.7%) に比して 39.6 ポイント上回った。また、調定額 79,364,009 円に対して 100.0%の収入率で、前年度と同じであった。

## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	65,560,000	44,084,000	148.7%
	補正予算等 (B)	△1,712,000	0	-
	増減率 (B/A)	△2.6%	0%	-
	予 算 現 額	63,848,000	44,084,000	144.8
支 出 済 額		63,364,668	29,767,352	212.9
差 引 残 額		483,332	14,316,648	3.4
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		483,332	14,316,648	3.4
執 行 率		99.2%	67.5%	-

支出済額は 63,364,668 円で、予算現額 63,848,000 円に対し 99.2%の執行率である。

支出済額は前年度に比し 33,597,316 円(112.9%)の増加である。

不用額は 483,332 円で、前年度に比し 13,833,316 円(96.6%)の減少である。

(10) 加須都市計画事業三俣第二土地区画整理事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 80,276,234 円 (予算現額に対して 148.6%)

歳出 47,870,370 円 ( " 88.6%)

で、差引残額が 32,405,864 円である。翌年度へ繰り越すべき財源はなかった  
たので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 58,626,745 円であったので  
26,220,881 円の赤字である。

ア 歳入

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比 24/23
		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	
予 算	当初予算額 (A)	49,890,000	37,082,000	134.5%
	補正予算等 (B)	4,138,485	22,771,000	18.2
	増減率 (B/A)	8.3%	61.4%	-
	予算現額	54,028,485	59,853,000	90.3
調 定 額		80,276,234	105,981,627	75.7
収 入 済 額		80,276,234	105,981,627	75.7
収 入 率	対 予 算 現 額	148.6%	177.1%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

本年度の収入済額は 80,276,234 円で、予算現額 54,028,485 円に対して  
148.6%の収入率となり、前年度 (177.1%) に比して 28.5 ポイント下回った。  
また、調定額 80,276,234 円に対して 100.0%の収入率で、前年度と同じであ  
った。

## イ 歳出

決算状況を前年度と比較すると、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	49,890,000	37,082,000	134.5%
	補正予算等 (B)	4,138,485	22,771,000	18.2
	増減率 (B/A)	8.3%	61.4%	-
	予 算 現 額	54,028,485	59,853,000	90.3
支 出 済 額		47,870,370	43,216,397	110.8
差 引 残 額		6,158,115	16,636,603	37.0
翌年度繰越額		0	4,138,485	-
不 用 額		6,158,115	12,498,118	49.3
執 行 率		88.6%	72.2%	-

支出済額は47,870,370円で、予算現額54,028,485円に対し88.6%の執行率である。

支出済額は前年度に比し4,653,973円(10.8%)の増加である。

不用額は6,158,115円で、前年度に比し6,340,003円(50.7%)の減少である。

(11) 幸手都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 264,111,510 円 (予算現額に対して 88.7%)

歳出 245,852,023 円 (予算現額に対して 82.6%)

で、差引残額が 18,259,487 円であり、翌年度へ繰り越すべき財源 13,496,000 円を差し引いた 4,763,487 円が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 3,589,394 円であったので 1,174,093 円の黒字である。

ア 歳入

歳入決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比 24/23
		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	
予 算	当初予算額 (A)	297,645,000	195,726,000	152.1%
	補正予算等 (B)	0	△49,830,000	-
	増減率 (B/A)	0%	△25.5%	-
	予算現額	297,645,000	145,896,000	204.0
調 定 額		264,111,510	145,818,379	181.1
収 入 済 額		264,111,510	145,818,379	181.1
収 入 率	対 予 算 現 額	88.7%	99.9%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

収入済額は 264,111,510 円で、予算現額 297,645,000 円に対して 88.7%の収入率となり、前年度 (99.9%) に比して、11.2 ポイント下回った。

また、調定額 264,111,510 円に対して 100.0%の収入率で、前年度と同率である。

## イ 歳出

歳出決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	297,645,000	195,726,000	152.1%
	補正予算等 (B)	0	△49,830,000	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予 算 現 額	297,645,000	145,896,000	204.0
支 出 済 額		245,852,023	142,228,985	172.9
差 引 残 額		51,792,977	3,667,015	1,412.4
翌 年 度 繰 越 額		27,690,000	0	-
不 用 額		24,102,977	3,667,015	657.3
執 行 率		82.6%	97.5%	-

支出済額は 245,852,023 円で、予算現額 297,645,000 円に対し 82.6%の執行率である。

支出額は、前年度に比し 103,623,038 円 (72.9%) の増加である。

不用額は 24,102,977 円で、前年度に比し 20,435,962 円 (557.3%) の増加である。

(12) 幸手都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 87,302,498 円 （予算現額に対して 102.2%）

歳出 83,528,395 円 （予算現額に対して 97.8%）

で、差引残額が 3,774,103 円であり、翌年度へ繰り越すべき財源はなかった  
たので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度の実質収支額が 5,362,296 円であったので  
1,588,193 円の赤字である。

ア 歳入

歳入決算状況は次表のとおりである。

（単位 円）

区 分 \ 年 度		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	85,404,000	87,678,000	97.4%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予算現額	85,404,000	87,678,000	97.4
調 定 額		87,302,498	88,198,806	99.0
収 入 済 額		87,302,498	88,198,806	99.0
収 入 率	対 予 算 現 額	102.2%	100.6%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

収入済額は 87,302,498 円で、予算現額 85,404,000 円に対して 102.2%の収  
入率となり、前年度（100.6%）に比して、1.6 ポイント上回った。

また、調定額 87,302,498 円に対して 100.0%の収入率で、前年度と同率で  
ある。



## イ 歳出

歳出決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額 (A)	85,404,000	87,678,000	97.4%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予 算 現 額	85,404,000	87,678,000	97.4
支 出 済 額		83,528,395	82,836,510	100.8
差 引 残 額		1,875,605	4,841,490	38.7
翌 年 度 繰 越 額		0	0	-
不 用 額		1,875,605	4,841,490	38.7
執 行 率		97.8%	94.5%	-

支出済額は 83,528,395 円で、予算現額 85,404,000 円に対し 97.8%の執行率である。

支出額は前年度に比し 691,885 円 (0.8%) の増加である。

不用額は 1,875,605 円で、前年度に比し 2,965,885 円 (61.3%) の減少である。

### (13) 河野博士育英事業特別会計

歳入歳出決算額は

歳入 5,961,625 円 (予算現額に対して 94.7%)

歳出 5,796,416 円 (予算現額に対して 92.0%)

で、差引残額が 165,209 円であり、翌年度へ繰り越すべき財源はなかったので、同額が実質収支額である。

単年度収支では、前年度実質収支額が 165,175 円であったので、34 円の黒字である。

#### ア 歳入

歳入決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分		年 度		前年度比
		平成 2 4 年度	平成 2 3 年度	24/23
予 算	当初予算額 (A)	6,298,000	5,460,000	115.3%
	補正予算等 (B)	0	0	-
	増減率 (B/A)	0%	0%	-
	予算現額	6,298,000	5,460,000	115.3
調 定 額		5,961,625	5,340,073	111.6
収 入 済 額		5,961,625	5,340,073	111.6
収 入 率	対 予 算 現 額	94.7%	97.8%	-
	対 調 定 額	100.0%	100.0%	-
不 納 欠 損 額		0	0	-
収 入 未 済 額		0	0	-

収入済額は 5,961,625 円で、予算現額 6,298,000 円に対して 94.7%の収入率となり、前年度 (97.8%) に比して、3.1 ポイント下回った。

また、調定額 5,961,625 円に対して 100.0%の収入率で、前年度と同率である。

## イ 歳出

歳出決算状況は次表のとおりである。

(単位 円)

区 分 \ 年 度		平成24年度	平成23年度	前年度比
				24/23
予 算	当初予算額(A)	6,298,000	5,460,000	115.3%
	補正予算等(B)	0	0	-
	増減率(B/A)	0%	0%	-
	予算現額	6,298,000	5,460,000	115.3
支出済額		5,796,416	5,174,898	112.0
差引残額		501,584	285,102	175.9
翌年度繰越額		0	0	-
不用額		501,584	285,102	175.9
執行率		92.0%	94.8%	-

支出済額は5,796,416円で、予算現額6,298,000円に対し92.0%の執行率である。

支出額は、前年度に比し621,518円(12.0%)の増加である。

不用額は501,584円で、前年度に比し216,482円(75.9%)の増加である。

**(14) 実質収支に関する調書**

実質収支に関する記載事項は、一般会計、特別会計とも適正に表示されているものと認められた。

**(15) 財産に関する調書**

公有財産、物品、債権、基金に分類し財産状態を表示しているが、一般会計、特別会計とも適正に管理されているものと認められた。

加須鴻巣学校給食センター組合

## 平成24年度加須鴻巣学校給食センター組合歳入歳出決算審査意見書

### 1 審査の対象

- 平成24年度加須鴻巣学校給食センター組合歳入歳出決算
- 実質収支・財産に関する調書

### 2 審査の期日

平成25年6月20日から平成25年8月19日まで

### 3 審査の方法

平成24年度加須鴻巣学校給食センター組合歳入歳出決算書及び関係書類に基づき、照合審査を行うとともに、出納検査等を参考にして関係者の説明を聴取し実施した。

審査にあたって、次のことについて特に留意した。

#### 歳入

- 収入成績（収入未済の状況）
- 予算現額や調定額に比し、著しく増減のあったものについてはその理由
- 収入処理の適否

#### 歳出

- 違法・不当な支出はなかったか
- 予算がその目的に合致するよう執行されたか
- 執行に怠慢がなく、かつ、効果的であったか
- 計数は正確で、かつ、関係帳簿と一致しているか

#### 4 審査の意見

平成24年度加須鴻巣学校給食センター組合歳入歳出決算は、審査に付された決算書及び同附属書類並びに関係諸帳簿、資料等を照合審査した結果、計数はいずれも正確であることを確認した。

また、予算の執行等について、おおむね適正に処理されているものと認められた。留意事項等は、次のとおりである。

なお、加須鴻巣学校給食センター組合は、平成25年3月31日に解散した。

厳しい財政状況の中で、合併により加須市の新たな学校給食行政の一部門としてスタートしましたが、施設の管理及び業務を適切に執行するとともに、児童生徒の食育の充実を図るため、より一層の努力を望むものである。

## 5 決算の状況

### (1) 決算

#### 歳入歳出決算額は

歳入 219,857,729 円 (予算現額に対して 97.8%)

歳出 202,867,505 円 ( " 90.2%)

で、差引残額が 16,990,224 円である。同額が実質収支額である。

#### ア 歳入

決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分		年 度
		平成 2 4 年度
予 算	当初予算額 (A)	224,825,000
	補正予算等 (B)	0
	増減率 (B / A)	0%
	予 算 現 額	224,825,000
調 定 額		224,139,328
収 入 済 額		219,857,729
収 入 率	対 予 算 現 額	97.8%
	対 調 定 額	98.1%
不 納 欠 損 額		0
収 入 未 済 額		4,281,599

本年度の収入済額は 219,857,729 円で、予算現額 224,825,000 円に対して 97.8%の収入率である。

また、調定額 224,139,328 円に対して 98.1%の収入率である。



## イ 歳出

決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分		年 度
		平成24年度
予 算	当初予算額 (A)	224,825,000
	補正予算等 (B)	0
	増減率 (B / A)	0%
	予 算 現 額	224,825,000
支 出 済 額		202,867,505
差 引 残 額		21,957,495
翌 年 度 繰 越 額		0
不 用 額		21,957,495
執 行 率		90.2%

支出済額は202,867,505円で、予算現額224,825,000円に対し90.2%の執行率である。

不用額は21,957,495円である。

### (2) 実質収支に関する調書

実質収支に関する記載事項は、適正に表示されているものと認められた。

### (3) 財産に関する調書

公有財産、物品、基金に分類し財産状態を表示しているが、適正に管理されているものと認められた。